



週報

第2660地区

The Rotary Club of OSAKA-WEST

大阪西ロータリークラブ

創立 昭和32年6月4日

事務局 大阪市北区梅田1丁目13番13号
 阪神百貨店11階(〒530-0001)
 電話 06-6348-8436 ファックス 06-6347-4556
 ホームページ <http://www.osaka-westrc.org>
 メール osaka-w@cronos.ocn.ne.jp
 例会日 毎週月曜日 12時30分
 例会場 ヒルトン大阪
 会場電話 06-6347-7111

会長 大塚 道夫
 幹事 安積 覚
 会報委員長 種村 泰一

4つのテスト われわれがものごとを考え、言い、また為そうとする場合はこれに照合してから。
 I 真実かどうか。II みんなに公平か。III 好意と友情を深めるか。IV みんなのためになるかどうか。

奉仕を通じて平和を

Peace through Service

田中 作次

No 2152 2012年9月3日 第2615回例会

本日のお知らせ

- ◆ R. S. 「 奉仕の理想 」
- ◆ 卓話 「 まちづくりと商売 」
松本 孝 君
- ◆ 定足数例会開催
本日例会終了後、例会場において開催致しますので、皆様ご出席ください。
議題 次年度会長・会長ノミニー・副会長・幹事・会計・S. A. A. ・理事の指名について
- ◆ 定例理事会開催
本日例会終了後、ヒルトン大阪 10 階において開催致しますので、理事・役員の方はご出席ください。
- ◆ 9 月度皆出席表彰
12 年 井本 一幸 君
12 年 中安 敬人 君
- ◆ ホームクラブ出席率良好表彰
井本 一幸 君
中安 敬人 君
- ◆ 9 月度お誕生祝い
昭和 2 年9月10日 新堂 庄二 君

昭和 20 年9月19日 岡 豪敏 君
 昭和 22 年9月28日 栗山 勝之 君

次例会のお知らせ

- ◆ R. S. 「 歓迎の歌 」
- ◆ 卓話の時間を使って、クラブ・フォーラムを行います。
テーマ : 新世代奉仕について

前例会の報告

- ◆ 前例会 (8月27日) の来客者 5名
うち国内来客者 3名
国内ゲスト 2名
- ◆ 前例会 (8月27日) の出席状況
出席会員数 (内17名免除会員) 51名
欠席会員 11名
出席規定適用免除会員 25名
会員総数 70名
出席率 82.26%
- ◆ 7月30日の例会の出席率 (MJを含む) 84.13%
- ◆ ニコニコ箱 (8月27日分)
○ 娘 (荻原美津子) が久しぶりにメーキャップに来てくれました。西南RC前幹事で会員100名以上になったとのこと。 松本 孝 君

- 野村さん、先週の北ヤードの見学会ありがとうございます。勉強になりました。ご成功をお祈りします。 原田 太七郎 君
- お客様いらっしゃいませ 丹生 昭教 君
- 本日卓話担当です。幼児教育にかける熱い思いをお聴き下さい。 上能 喜久治 君

ニコニコ箱 (8月27日分) 合計 25,000 円

＜ ニコニコ箱 収入報告 ＞

	予算	実績	実績/予算
8月度	295,800 円	178,000 円	60.18%
累計	3,550,000 円	588,000 円	16.56%

クラブ・ニュース

◆ 2012-2013 年度活動計画書の訂正について
活動計画書の訂正につきましてご報告致します。
(赤字が修正箇所 下線箇所が修正後の内容)

- 7 頁 社会奉仕委員会副委員長
野村泰弘 → 上野義治
- 11 頁 2011年7月～2012年6月
退会者 4 → 5
6月末会員数 71 → 70
- 12 頁 会員の年齢構成
平均 64歳2ヶ月 → 64歳4ヶ月
50～59歳 19名 → 18名
- 13 頁 2011年7月～2012年5月 → 2012年6月
ホームクラブ出席率 78.45% → 78.61%
メイクアップによる出席率 87.51% → 87.50%
- 14 頁 例会への来訪者数
2011～2012 (5月末) → 2011～2012
国内来客者 190 → 203
国内ゲスト 38 → 43
海外ゲスト 0 → 15
- 41 頁 職業分類表 会員総数 72名 → 71名
正会員 71名 → 70名
- 48 頁 前期繰越金 9,379,886 → 11,059,330
収入合計 31,497,286 → 33,176,730
- 49 頁 次期繰越金 6,539,811 → 8,219,255
- 54 頁 前期繰越金 5,674,098 → 5,777,618
収入合計 9,328,618 → 9,328,618
次期繰越金 3,769,098 → 3,872,618

◆ 財団管理委員長「未来の夢」の進展について語る
ウィリアム B. ボイド財団管理委員長は、2012年国際協議会の未来の夢に関する講演で、「私たちは目的地を目指して着実に進展を遂げている」と述べ、未来の夢の原則は、「シンプルさ」と「持

続可能性」、そして地区、クラブ、ロータリアンが資金の使用と管理に関与することだと説明しました。

これまで補助金は12種類ありましたが、未来の夢では「グローバル補助金」と「新地区補助金」の2種類に統一されます。グローバル補助金は、6つの重点分野のいずれかに関連し、長期的に大きな成果が期待できる、大規模な国際的プロジェクトを支えます。一方、新地区補助金は、財団の使命を支えるさまざまな活動を支援します。

2013年7月1日からは、すべての地区が、この新しい補助金を利用できるようになります。管理委員長は、6つの重点分野が未来の夢計画を成功させる主な要因であると説明します。

「小さなプロジェクトでは、達成感を得られても、表面的な解決に過ぎず、根本的な原因に対処していないことがよくあります。また恩恵も短期的なものです。そのような小さなプロジェクトを重ねるよりも、もっと大きなことに挑戦する必要があると思います」と管理委員長。「私たちのリソースは限られており、一人ひとりのニーズすべてに応えることはできません。しかし、ロータリアンは、これらの重要な分野で変化をもたらし、世界を変えていくことができるのです。」

管理委員長は、未来の夢試験地区の活動例を紹介。未来の夢では「活動のマンネリ化」を断ち切ることができる与管理委員長は話します。物事を大きく考え、限界を押し広げ、これまでの古いやり方から抜け出すことの重要性を強調しました。

「私たちは、奉仕をするためにここにいます。人生は、自分のために何をしたかではなく、人のために何をしたかによって決まると知っているからこそ、私たちはロータリアンとなったのです。」国際協議会第3回本会議では、ウィルフリッド J. ウィルキンソン次期管理委員長が、2012-13年度の財団目標を発表しました。それらは、ポリオの撲滅、会長テーマ「奉仕を通じて平和を」の実現、年次基金を通じた財団の強化、地区による財団資金の管理です。

♪本日のロータリーソング♪
「奉仕の理想」

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや耀きて
永久に栄えよ我等のロータリー
ロータリー